

## 大阪大学図書館報

Vol. 14, No. 3/4 November 1980

## 目次

- |                |         |
|----------------|---------|
| ○「ユダヤ研究」をめぐって  | ○会 議    |
| ○外国雑誌の予約について   | ○日 程    |
| ○昭和54年度 大型資料一覧 | ○館内の動き  |
| ○図書館委員会委員名簿    | ○人 事    |
| ○教官著作寄贈図書      | ○図書館の概況 |
| ○本館受入参考図書      |         |

## 「ユダヤ研究」をめぐって

徳 永 恂

## 1. ユダヤ人の鼻

ユダヤ人という人はずい何の思い浮べるだろうか。鍵形に曲った大きな鼻。ほとんどの日本人は直接にユダヤ人と接したことがないから、よく物の本などに画れているそんな鼻の形を、ユダヤ人の人種的特徴と思こんでいるのではないだろうか。だがどうやらそれは間違いのようである。ある調査によると、ニューヨーク在住ユダヤ人から4,000人を選んで調べた結果、60%はいわゆるギリシャ型、18%は団子鼻、10%は幅広型で鍵鼻はせいぜい14%にすぎなかったそうである。他の証言によっても、東北欧系ユダヤ人（アシケナージ）と西南欧系ユダヤ人（セハアルディ）に共通する人種的相貌を抽出することは難しく、鍵鼻の持ち主は、むしろアルメニアや、皮肉なことに反ユダヤ感情の強いバイエルン地方に、多く見られるという。だがそれにしては何故鍵鼻がユダヤ人のシンボルのように思われているのだろうか。西欧のカリカチュアの歴史を辿ってみると、ユダヤ人を鍵鼻と結びつけて画いた絵は中世以前には存在せず、中世末期から近代になって、ようやく定着するようになるのだそうである。中世以前に鍵鼻の持主として画かれていたのは他でもない。魔女や魔法使いたちなのである。つまり十字軍以降、反ユダヤ感情の流布とともに、それまでの魔女イメージがユダヤ人に投影され、鍵鼻のイメージがユダヤ人のシンボルとして新しく造り出されてきた、というわけなのである。

日本人はユダヤ人と接触したことがなく、したがって反ユダヤ感情も持ち合せないと言われる。たしかにこれは世界でも珍しい例ではあろう。しかし何も威張れた話ではないのだ。われわれは要するに無知、ないしせいぜい白紙の状態にいるというだけで、けっして汚染に対する免疫を持っているというわけではないのだから。鍵鼻の例にも見られるとおり、ユダ

ヤ人についての素朴なイメージ、単純な概念さえ、すでに複雑な屈折と着色とを歴史の中で経験してきている。高利貸シャイロックや、フリーメーソンの世界征服の陰謀などという俗見は言うまでもない。わが国でも細々と続けられてきた旧約聖書やヘブライ学の伝統でさえ、すでにキリスト教中心主義という偏りの蔭に、ユダヤ文化の正しい理解を歪めているとさえ言うてよからう。

今さらマルクス、フロイト、アインシュタイン以下、ノーベル賞受賞者数10人の名をあげるまでもなく、ユダヤ人が人類文化に果たした貢献は限りなく、ユダヤ人迫害が、その当事者双方にもたらしたドラマの深刻さは測りがたい。その意味ではユダヤ研究は、たんに個別的なユダヤ文化への特殊研究であるだけでなく、広く西欧文化と近代とを理解し批判する上で、ある普遍的な意義を持っている筈である。にもかかわらず、この方面の研究がいちぢるしく立ち遅れ、と言うよりほとんど手つかずの状態にあったのは、意識的無意識的な偏見や問題視角の盲点といった事情のほか、何ととっても資料の不足が決定的であった。

## 2. 「ユダヤ研究コレクション」の内容について

昨年度大阪大学が文部省の「大型コレクション購入費」から半額分の補助を得て購入した「ユダヤ研究コレクション」は、この資料不足を一挙に埋める貴重なものである。それは質量ともに我国では随一の、世界でも有数の規模を誇るに足りる。これは、ニューヨークの「レオ・ベック研究所」が多年の収集の一部（重複分）を放出したものであるがニューヨークの古書競売市場に出たところを、いちはやくナウカ書店の協力を得て入手できたのは、円高の機に恵まれたとはいえ、幸運と言うしかない。レオ・ベック研究所とは、ドイツ系ユダヤ人の歴史・文化・生活の研究を目的に戦後イエルサレム、ロンドン、ニューヨークに開設された研究所で、資料の収集、研究業績とも、この方面で唯一最高の権威を誇っている。ところで総数3,000点を超える本コレクションは、1850年から1970年に至る期間の出版物で、一部英、仏、ヘブライ語を含むが、ほとんどがドイツ語文献から成り立っている。形式的には単行本と定期行物のほか、パンフレット、新聞、記録文書等多様な形を持ち、内容的には、近代ドイツにおけるユダヤ人を対象にしつつも、宗教、哲学、文化、歴史、芸術、政治等各方面にわたり、いわゆるユダヤ人問題、反ユダヤ主義、シオニズム等、広般な学際的領域にまたがっている。とりわけ本コレクションが貴重なのは、その大半が19世紀後半から第二次大戦に至る間に出版された中古本であり、これらはナチスによる焚書によって、現在ドイツ本国ではまったく入手不能のものばかりだからである。たとえばメンデルスゾーンやブーバー、ローゼンツヴァイク等の主要著作は、今日別途で手に入れることができるが、それら著作集に含まれていない講演記録や回想録、副次的文献など。またワイマール期の優れた思想家であり蔵相在職中兇刃に倒れたラテノウ関係の数10点。シオニズム運動の父ヘルツエルの講演や書簡集など。さらにそういうまとまった形をとっていないものでも、地方における共同体や都市の小集団の規約や活動記録、名もしらぬ団体や家族の生活史など、特殊な資料の内にも、使い方によっては多くの貴重な資料が含まれているにちがいない。ただ放出の事情などから雑誌のバックナンバーの一部に欠本があるのが惜しまれるが、これは今後この分野の資料を網羅したウイナーのカタログシリーズ等と照合し、また私自身この秋にはイエルサレムのレオ・ベック研究所へ行く予定なので、現物と突き合せて、コピーなどの手段で欠を埋め、いっそう完備したものにしていきたいと念願している。

残された問題は、このコレクションがいわば雑本の集積であるため、その整理が困難を極めるということである。文部省は整理費までは面倒を見てくれないし、本学図書館としても

登録業務以外は手が廻らず、分類やカード作りは自力でやらなければならない。その労力と費用の調達に目下苦慮を重ねている。今のままでは一般の利用に供するまで尚数年を要することになる。この宝の山を埋もれさせないために、当事者として、また図書館委員として、図書館職員の定員増を切望してやまない次第である。(人間科学部教授)

## 外国雑誌の予約について

現在、昭和56年度の外国雑誌の予約事務を行っているが、ここで前年度(昭和55年度)予約の結果を報告し、問題点を少し挙げてみたいと思います。昭和55年度の予約タイトル数は、7,904タイトル、予約金額は約277,900,000円であり、前金払誌については表2に示す通りです。まず特徴として為替レートの変動が昭和54年度と比較して円高→円安の傾向になったこと、しかもその幅がこれまでに見られないほど著しいものであったことである。前金払誌全体のおよそ60%をしめる米ドルについて言えば、表1に示すように20%のアップ率になって

表1 外国雑誌前金払金額およびレート別年度比率一覧表

区 分	昭和53年度		昭和54年度		昭和55年度	
	種 類	金 額	種 類	金 額	種 類	金 額
雑 誌	点 4,907	千円 184,380	点 5,517	千円 177,802	点 6,165	千円 258,685
対前年度比較	—	—	610	-6,578	648	80,883
対前年度比率	—	—	12.4%	-3.6%	11.7%	45.5%
米 ド ル	為 替 レ ー ト	253.45円	189.15円	226.77円		
	購 入 価 格	309 円	230 円	276 円		
購 入 価 格 対前年度比率	—		-25.6%		20%	

いる。各部局とも予想以上の価格になったので予算面で非常に苦慮していて、ある部局ではこれまで通りには購入出来ないのでは、中止する雑誌を選別するための委員会を設けているほどである。外国雑誌購入の場合、一般の図書と異なり予約が前提となっていて、しかもその予約する時期(毎年9月~11月頃)には、およそ50%ほどしか雑誌の原価が

決定されていないのが現状である。このため大へん予算がたてにくく、通常、雑誌購入費を原価の値上がり等を見込んで前年度に対して20%アップと見て予算を計上していくようだが、今回のように原価の値上がりプラス為替レート的大幅な変動により購入価格が高くなるともうお手上げである。

前金払誌について新規購読分を除外して、継続雑誌だけを昭和54年度と比較してみると、外国定価(Foreign Price)については主要通貨で、米ドル14%、ドイツマルク6%、ポンド32%の値上がりになり、購入価格では円安の為替レートの影響を含め全学平均で40%の値上がりにもなっている。今ここで昭和54年度の予約時のT. T. S. レート(Telegraphic Transfer Selling Rate 電信為替相場)をみると、表1に示したように昭和55年度とは逆に円安→円高になっており、前金払誌で昭和55年度と同程度増加(610タイトル)しているのに前金払額が3.6%減少している。さらに米ドルについてみると、昭和53年度と昭和55年度を比較すると昭和55年はまだ円高である。このようにみえるとレート設定期間にどれほど変動するか予想を立てるのはむずかしいし、又これは現在外国雑誌の契約にとって大きな問題になっているのだが、単に前年度だけの実績を規準にして予約するのではなく、もっと広い範囲でのレートの変動に目を向けていく必要があるのではないだろうか。レートの変動、あるいは原価の値上げのたびごとに中止、復活をくりかえすのは、もちろんそれぞ

れの部局としての事情はあるだろうが出来るだけさせたいと思う。バックナンバーで購入すると値段も高く、又入手不可能なものも出てくる。収集の基本方針をしっかりと立てて予算を確保していく必要があるのではないか。

現在、文部省より自然科学系外国雑誌の集中化、共同利用に伴う予算配分が行なわれているが、一般外国雑誌購入費についても抜本的な解決方法を考えないと教育、研究に支障をきたすことになるのではないだろうか。又研究者側でもこれまで通りの個別的な研究室を中心とする利用方法ばかりでなく、共同利用による方法で少しでも予算を有効に使用するよう考えなければならないのではないだろうか。

表2 昭和54・55年度外国雑誌前金払比較一覧表

部	局	昭和54年度(A)		昭和55年度(B)		点 数		金 額	
		点 数	金額(千円)	点 数	金額(千円)	B-A	$\frac{(B-A)}{A} \times 100\%$	B-A	$\frac{(B-A)}{A} \times 100\%$
LT	文 学 部	170	1,473	180	2,064	10	5.9	591	40.1
HU	人 間 科 学 部	331	3,849	332	5,287	1	0.3	1,438	37.3
JU	法 学 部	179	2,179	192	3,019	13	7.3	840	38.5
EC	経 済 学 部	245	2,619	254	3,720	9	3.7	1,101	42.0
SC	理 学 部	364	22,189	362	30,602	-2	-0.5	8,413	37.9
ME	医 学 部	392	15,316	396	21,707	4	1.0	6,391	41.7
DE	歯 学 部	136	6,319	143	8,347	5	3.7	2,028	32.1
PH	薬 学 部	19	728	22	1,229	3	15.8	501	68.8
TE	工 学 部	856	33,760	882	47,380	26	3.0	13,620	40.3
ES	基 礎 工 学 部	501	23,034	528	32,282	27	5.4	9,248	40.1
GE	教 養 部	297	12,409	316	18,392	19	6.4	5,983	48.2
LC	言 語 文 化 部	148	1,286	152	1,846	4	2.7	560	43.5
LA	レーザー核融研究センター	17	582	18	903	1	5.9	321	55.1
NC	核物理研究センター	20	2,175	20	3,168	0	0	993	45.7
CC	大型計算機センター	41	913	47	1,449	6	14.6	536	58.7
SG	学 生 部	5	77	5	103	0	0	26	33.8
YU	湯 川 記 念 室	13	1,606	13	2,268	0	0	662	41.2
PT	医 療 短 大	77	1,316	81	1,982	4	5.2	666	50.6
CL	附 属 図 書 館 (本館)	100	3,193	103	5,107	3	3.0	1,914	59.9
NL	中 之 島 分 館	808	11,338	1,288	22,690	480	59.4	11,352	100.1
SL	吹 田 分 館	105	3,172	113	4,795	8	7.6	1,623	51.2
PL	薬 学 分 館	91	6,046	91	8,409	0	0	2,363	39.1
	国 立 学 校 計	4,915	155,579	5,538	226,749	623	12.7	71,170	45.7
MH	医 学 部 病 院	224	5,819	232	8,067	8	3.6	2,248	38.6
DH	歯 学 部 病 院	3	38	7	134	4	133.3	96	252.6
	大 学 附 属 病 院 計	227	5,857	239	8,201	12	5.3	2,344	40.0
BI	微 生 物 病 研	82	2,846	86	4,072	4	4.9	1,226	43.1
SI	産 業 科 学 研	129	8,341	131	12,010	2	1.6	3,669	44.0
EI	社 会 経 済 研	75	1,336	82	1,954	7	9.3	618	46.3
PI	蛋 白 質 研	55	3,151	54	4,666	-1	-1.8	1,515	48.1
WI	溶 接 工 学 研	34	692	35	1,033	1	2.9	341	49.3
	研 究 所 計	375	16,366	388	23,735	13	3.5	7,369	45.0
	合 計	5,517	177,802	6,165	258,685	648	11.7	80,883	45.5

## 昭和54年度 大型資料購入一覧

昭和53年度に引続いて、昭和54年度文部省特別配分予算により、人文・社会科学分野の全国共同利用資料として31国立大学に37点の大型コレクションが購入された。本学においては「Study of Judaica Collection」が購入されたが、他大学の購入資料は下記の通りである。

大 学 名 図 書 資 料 名

- |        |                                     |         |                                     |
|--------|-------------------------------------|---------|-------------------------------------|
| 北 海 道  | ○ドイツ法制史・実定法関連コレクション                 | 京 都     | ○台湾中国国立中央図書館善本漢籍<br>○フランス国民議会議事録    |
| 弘 前    | ○初期英語文献協会出版物                        | 京 都 教 育 | ○教育情報センター文献資料                       |
| 東 北    | ○米国判例体系<br>○英国古書集成                  | 大 阪 外 語 | ○北欧歴史と民間伝承コレクション                    |
| 山 形    | ○上杉文書                               | 神 戸     | ○ロシア・ソ連で出版された日本関係文献                 |
| 筑 波    | ○マックス・ベツソン・ジャポニカコレクション              | 神 戸 商 船 | ○近世の廻漕史料（東北編）                       |
| 埼 玉    | ○現代政治学基本文献集                         | 奈 良 教 育 | ○アメリカ主要大学教員養成関係学位論文集                |
| 千 葉    | ○イギリス知体験                            | 鳥 取     | ○四部分類叢書                             |
| 東 京    | ○英国政府刊行物<br>○民国時代公文書資料<br>○舌耕文芸関係資料 | 岡 山     | ○ドイツ歴史史料集成                          |
| 東京学芸   | ○英国教育学文献集成                          | 広 島     | ○米国国勢調査報告書                          |
| お茶の水女子 | ○女性の歴史                              | 山 口     | ○四庫全書珍本                             |
| 横浜国立   | ○中国方志叢書                             | 愛 媛     | ○大日本古文書正倉院編年文書                      |
| 新 潟    | ○欧州各国公式経済統計資料                       | 九 州     | ○米国判例体系<br>○欧州各国公式経済統計資料<br>○石崎文庫蔵本 |
| 富 山    | ○承政院日記                              | 長 崎     | ○巨大企業・経済集中関係資料                      |
| 静 岡    | ○国際連盟関係コレクション                       | 熊 本     | ○旧幕府引継書                             |
| 名古屋    | ○ホップスを中心とするイギリス思想史原典コレクション          | 鹿 児 島   | ○シボガ学術探検報告                          |

図 書 館 委 員 会 委 員 名 簿 (55. 10. 1. 現在)

委 員 長	山田教授 (図書館長)	教 養 部	大塚教授	黒川教授
文 学 部	植村教授 石田教授	言 語 文 化 部	斉藤教授	中山教授
人 間 科 学 部	塩原教授 森田教授	微 生 物 病 研 究 所	高橋教授	中林教授
法 学 部	覚道教授 矢崎教授	産 業 科 学 研 究 所	川西教授	三角教授
経 済 学 部	作道教授 渡辺教授	社 会 経 済 研 究 所	新開教授	稲田教授
理 学 部	森田教授 殿村教授	蛋 白 質 研 究 所	成田教授	倉橋教授
医 学 部	◎北村教授 松原教授	溶 接 工 学 研 究 所	圓城教授	岩本教授
医学部附属病院	宮井教授 西村教授	事 務 局	中西局長	
歯 学 部	八木教授 作田教授	(オブザーバー)		
薬 学 部	◎鎌田教授 北川教授	医 療 技 術 短 期 大 学 部	山崎教授	加納教授
工 学 部	◎三川教授 山根教授	◎印：分館長		
基 礎 工 学 部	伊藤教授 須田教授			

附 属 図 書 館 豊 中 地 区 運 営 委 員 会 委 員 名 簿 (55. 10. 1. 現在)

委 員 長	渡辺教授 (経)	人 間 科 学 部	森田教授	西田教授
文 学 部	植村教授 石田教授	法 学 部	覚道教授	矢崎教授

経済学部	作道教授	渡辺教授	言語文化部	齊藤教授	中山教授
理学部	森田教授	殿村教授	社会経済研究所	新開教授	久我教授
基礎工学部	伊藤教授	須田教授	(オブサーバー)		
教養部	黒川教授	大塚教授	医療技術短期大学部	山崎教授	加納教授

### 附属図書館中之島分館運営委員会委員名簿 (55. 10. 1 現在)

分館長	北村教授 (医)	薬学部	鎌田教授	近藤教授
医学部	後藤教授	松原教授	微生物病研究所	高橋教授
医学部附属病院	宮井教授	西村教授	蛋白質研究所	成田教授
歯学部	八木教授	作田教授		倉橋教授

### 附属図書館吹田地区運営委員会委員名簿 (55. 10. 1. 現在)

分館長	三川教授 (工)	産業科学研究所	川西教授	三角教授
工学部	山根教授	鈴木教授	溶接工学研究所	圓城教授
				岩本教授

### 附属図書館薬学部分館運営委員会委員名簿 (55. 10. 1. 現在)

分館長	鎌田教授	委員	枘井教授
委員	岩田教授	委員	田村教授
委員	北川教授	委員	三浦教授

### 教官著作寄贈図書

#### —— 本 館 ——

高橋昭二(文・教授)  
 里見軍之(文・助教授)  
 塚崙 智(文・助教授)  
 浅野遼二(医短・助教授)  
 歴史の哲学 (現代哲学選書 8) 高橋  
 昭二、徳永 恂編著 (北樹出版 昭55)  
 杉山光信(人・助教授)  
 オルレアンのうわさ Morin Edgar著  
 杉山光信訳 (みすず書房 昭48)  
 歴史への希望 Touraine Alain著 杉山  
 光信訳 (新曜社 昭54)  
 中崎昌雄(基工・教授)  
 基礎有機化学 中崎昌雄著  
 (朝倉書店 昭55)  
 波田節夫(言文・教授)  
 侏儒ペーター (世界幻想文学大系 18)  
 C. H. Spiess著 波田節夫訳  
 (図書刊行会 昭54)  
 永嶋大典(言文・教授)

女性と英米文学 和知識之助編  
 (研究社 昭55)

大高順雄(言文・教授)  
 アングロノルマン語 (英語学ライブラリ  
 — 67) Mildred K. Pope著 大高順  
 雄他共訳 (研究社 昭55)

#### —— 理学部分室 ——

中村 晃(理・教授)  
 Principles and applications of homo-  
 geneous catalysis. by Akira Naka-  
 mura, Minoru Tsutsui.  
 (John Wiley 1980)

向畑恭男(理・助教授)  
 Cation flux across biomembranes.  
 ed. by Yasuo Mukahata, Lester Pac-  
 ker. (Academic Press 1979)

徂徠道夫(理・助手)  
 磁気化学—基礎と応用— Weiss, A.  
 Witte, H. 共著 徂徠道夫訳  
 (みすず書房 昭48)

## — 中之島分館 —

河村洋二郎(医・教授)

The first fifty-year history of the  
International Association for Dental  
Research. (Univ. of Chicago1973)

## — 吹田分館 —

園田 昇(工・教授)

有機工業化学 園田 昇、亀岡 弘編  
(化学同人 昭55)

尾崎 弘(工・教授)

論理数学の基礎 尾崎 弘、藤原秀雄共  
著 (オーム社 昭55)

紙野桂人(工・助教授)

人のうごきと街のデザイン 紙野桂人著  
(彰国社 昭55)

## — 薬学部分館 —

米虫節夫(薬・助手)

生物系データ処理の統計入門 I、II  
JARAS-SAB委員会(代表者米虫節夫)  
編 (日本学術研究会 昭55)

## 本館受入参考図書

(昭和55年5～6月)

## ◇ 総 記 ◇

DIALOG データベースガイド 第3巻  
(紀伊国屋書店)

全集・叢書細目総覧 国立国会図書館編  
(紀伊国屋書店)

雑誌新聞総かたろぐ 1980年版  
(メディア・リサーチ・センター)

日本の参考図書 解説総覧  
(日本図書館協会)

国立国会図書館所蔵日本関係欧文図書目録  
昭和23—50年 (紀伊国屋書店)

General catalogue of printed books  
to 1955. Vol. 1-27; ten-year supple-  
ment 1956—1965. Vol. 1-5; five year  
supplement 1966—1970. Vol. 1-3. ed.  
British Museum.(Readex Microprint)

日本名数辞典 朝倉治彦他編(東京堂出版)

Great Soviet encyclopedia. Vol. 20—23,  
index. (Macmillan)

## ◇ 歴 史 ◇

世界考古学事典 (平凡社)

朝日=タイムズ世界歴史地図(朝日新聞社)

京都事典 村井康彦編 (東京堂出版)

インド学大事典 Renou, L. 他著 山本智  
教訳 (金花舎)

The international who's who 1979—80.  
43ed. (Europa Pub.)

西洋紋章大図鑑 Walter, L. 著 須本由喜  
子訳 (美術出版社)

最新地理学辞典 藤岡謙二郎編 新訂版  
(大明堂)

難読地名辞典 山口恵一郎他編  
(東京堂出版)

## ◇ 社会科学 ◇

A London bibliography of the social  
sciences. Vol. 36. 1978. (Mansell)

中共術語彙解 同編輯委員会編 増訂  
(中国出版)

日本社会運動人名辞典 塩田庄兵衛[他]編  
(青木書店)

法学文献総目録 第2～3巻 法律時報編  
(日本評論社)

中国法制大辞典 東川徳治著 (燎原)

判例家事審判法 1—3(新日本法規出版)

国際条約集 第4版改訂版 横田喜三郎他  
編 (有斐閣)

Bibliographic guide to business and  
economics 1978. Vol. 1-3. (Hall)

経済文献解題 1979年版(ダイヤモンド社)

日本経済統計資料総合目録 鉱工事・エネ  
ルギー産業編、農林業編 経済資料協議  
会編 (同朋舎)

日本経済史第七文獻 黒羽兵治郎編  
(大阪経済大学日本経済史研究所)

近代日本経済史要覧 安藤良雄編 第2版

- (東京大学出版会)  
 外国企業および企業者・経営者史総合目録  
 日本経営史学会編 (雄松堂書店)  
 マネジメント用語辞典 山田雄一他編著  
 (総合労働研究所)  
 企業会計規則集 10訂版  
 (税務研究会出版局)  
 Bibliographic guide to education 1978.  
 (Hall)  
 教育学大事典 1-6巻 細谷俊夫他編  
 (第一法規)  
 文化人類学事典 祖父江孝男〔他〕編著  
 (ぎょうせい)
- ◇ 自然科学 ◇  
 教学英和・和英辞典 小松勇作編著  
 (共立出版)  
 物理学小辞典 J. シューリス著 中村誠太  
 郎訳編 (共立出版)  
 物理実験ハンドブック 藤井 清他編  
 (講談社)  
 化学の研究調査と文献 川村 信一郎著  
 (南江堂)  
 遺伝学辞典 (共立出版)  
 Medical subject headings; tree struc-  
 tures 1979; annotated alphabetic li-  
 st 1979.ed.U. S. National Library of  
 Medicine. (NTIS)  
 INDEX MEDICUS による医学文献の探  
 し方 松村多美子著  
 (日本医学図書館協会)  
 薬学情報科学概論 松尾恒雄編 第2版  
 (地人書館)
- ◇ 工学・技術 ◇  
 Encyclopedia of computer science and  
 technology. Vol. 12-13. (Dekker.)  
 JIS用語辞典 1-6 (日本規格協会)  
 自動車の事典 樋口健治〔他〕編  
 (朝倉書店)  
 原子力科学用語辞典 露日英対訳  
 (日本原子力産業会議)
- 電子通信ハンドブック 電子通信学会編  
 (オーム社)  
 化学工学便覧 化学工学協会編 改訂4版  
 (丸善)  
 問答式医学百科 第1-4巻 Rothenbe-  
 rg, R. E. 編 (時事通信社)
- ◇ 芸術 ◇  
 ヨーロッパの美術館案内 富永惣一郎編著  
 (鹿島出版会)  
 国宝重要文化財案内 増補改訂版  
 (毎日新聞社)  
 文様の事典 岡登貞治編 (東京堂出版)
- ◇ 語学 ◇  
 故事名言・由来・ことわざ総解説  
 (自由国民社)  
 大阪ことば事典 牧村史陽編 (講談社)  
 中日大辞典 愛知大学中日大辞典編纂処  
 (中日大辞典刊行会)  
 現代漢語詞典 中国科学院編 (竜溪書舎)  
 中国語熟語辞典 田中清一郎編 (白水社)  
 福建漢語方言基礎語彙集 中嶋幹起著  
 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語  
 文化研究所)  
 Judson's Burmese-English dictionary.  
 by Robert C. Stevenson (Baptist  
 Board of Pub.)  
 英文正誤活用辞典 Womack, T. 他著  
 (荒竹出版)  
 英語類義語活用辞典 最所フミ編集  
 (研究社)
- Longman dictionary of contemporary  
 English. (Longman)  
 和西辞典 宮城昇〔他〕編 (白水社)
- ◇ 文学 ◇  
 井上 靖ノート 坂入公一編著 (風書房)  
 Modern Japanese literature in trans-  
 lation. by The Internatinal House of  
 Japan Library.  
 (Kodansha Internatinal)  
 英米文学植物民俗誌 加藤憲一著(富山房)

## ■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

### —— 図 書 館 委 員 会 ——

55. 7. 2(水) 15:00~17:00(本館会議室)

報告事項 1. 昭和56年度概算要求について 2. 昭和55年度図書資料(大型コレクション)の経過について 3. 中之島分館の拠点図書館通達について 4. 情報図書館課々長の交替・適塾展について 5. 理学部図書室に閲覧第3掛の設置と職員の配置換等について説明があった。

協議事項 昭和55年度附属図書館予算配分要領(案)について、各事項別資料に基づいて説明があり種々質問があり検討の結果原案どおり承認された。

### —— 附属図書館豊中地区運営委員会 ——

55. 9. 8(月) 15:00~16:15(本館会議室)

協議事項 書庫棟増築(約1,950㎡)が決定、増築計画案について説明があり、種々検討の結果、法経学部側3層部分に非常口を設けるよう要望があった。その他については原案を承認された。

55. 9. 18(木) 16:00~17:00(館長室)

協議事項(継続) 法経学部側に非常口を設けることについて、施設部と関係諸官庁との交渉結果の報告があり、種々検討の結果、非常口は設けるが法経文学部と図書館双方の管理体制が整うまでは非常口の用途以外には使用しないことでした。

### —— 分 館 長 会 議 ——

55. 9. 19(金) 15:00~17:00(館長室)

報告事項 書庫増築決定と計画案について説明があった。

協議事項 中之島分館が吹田地区に移転することについて。生物系図書館としてその将来計画を検討してきた図書館委員会の下部組織であった生物系図書館企画小委員会(第1回47. 11. 第2回48. 5. 第3回48. 10開催)の経緯及び討議内容について説明があり、検討の結果今後この生物系図書館企画小委員会を再発足させることとし、その構成部局及び委員の選出等を検討する準備会を開くこととなり、館長名で関係部局長に各部局1名の出席を依頼することを決定した。

## ■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- |                   |                                     |            |
|-------------------|-------------------------------------|------------|
| 55. 6. 4.         | 第49回近畿地区国公立大学図書館協議会総会               | (滋賀医科大学)   |
| 55. 6. 6.         | 第4回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会            | (本館会議室)    |
| 55. 6. 19.<br>20. | 第27回国立大学図書館協議会総会                    | (東北大学)     |
| 55. 6. 23.        | 分館長会議                               | (館長室)      |
| 55. 7. 2.         | 図書館委員会                              | (本館会議室)    |
| 55. 7. 3.         | 第5回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会            | (大阪市立大学)   |
| 55. 7. 8.         | 昭和55年度第1回国立大学図書館協議会常務理事会            | (東京大学)     |
| 55. 7. 16.        | 附属図書館中之島分館運営委員会                     | (中之島分館会議室) |
| 55. 7. 29.        | 近畿地区国公立大学図書館協議会図書館施設に関する研究集会(姫路工業大) |            |
| 55. 7. 30.        | 近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会                | (中之島分館会議室) |
| 55. 8. 6.         | 第6回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会(和歌山県立医科大学) |            |
| 55. 9. 5.         | 学術雑誌総合目録欧文編データ更新記入説明会               | (吹田分館)     |

55. 9. 5. 近畿地区国公立大学図書館協議会第5回館長部課長連絡会議(京都府立大学)  
 55. 9. 8. 附属図書館豊中地区運営委員会 (本館会議室)  
 55. 9. 9. 第17回大学図書館国際連絡委員会 (東京大学)  
 55. 9. 11. 第7回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会 (大阪経済大学)  
 55. 9. 19. 分館長会議 (館長室)  
 65. 9. 20. 昭和55年度第1回図書館職員研修講演会 (本館視聴覚室)  
 55. 9. 24. 附属図書館吹田地区運営委員会 (吹田分館会議室)  
 55. 9. 25. 第54次国立七大学附属図書館協議会及び第13回部課長会議 (北海道大学)  
 26.

## ■■■■■■■■■■ 館内の動き ■■■■■■■■■■

### 大阪大学附属図書館業務機械化検討委員会

第7回(9.12.)を開催、報告者石井：閲覧業務について他大学のシステムの分析報告と、大阪大学の評価と改善点について発表があり種々検討がされた。一応現時点での各業務の事例研究の検討が終ったので、今後の新システム案を受入整理部門伊藤、雑誌管理部門茂幾、閲覧部門石井を担当に、門田、宮内、諏訪と相談して、次回までにまとめることにし、それ迄に担当者打合せを行うことを決定した。

### 昭和55年度第1回図書館職員研修講演会

教養部海野一隆教授の「図と書について」の講演が昭和55年9月20日(土)本館視聴覚室で行なわれた。中国では図が書の精神であり、色や形は文章では表現することが出来ないもので、いかに図を大切に考えていたかを図の字源から説かれ、政治・経済・風俗・兵法に至るまで、いかに図形によって表現され伝えられて来たかを一つ一つ事例を示しての説明で、馬王堆漢墓から発見された2100年前の地図の読み方など学問的ながらユーモアに富み解りやすい講演で、中国の文化・図書の起源を再認識させられる有意義なものであった。

### ワンカラー・スライド作成機設置さる

本館では従来、2階参考掛カウンターで白黒スライドの作成のみ受付けてきたが、このたびワンカラー(ブルー)・スライドを作成する機器を購入した。作成所要時間は7~10分で、取扱いは簡単。白黒スライドと同じく校費支払の場合のみ受付けている。

## ■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

### 職員の移動

55. 6. 1. 昇任 加島美代子 整理課和漢目録掛長(整理課和漢書目録主任)  
 55. 6. 1. 配置換 小山 靖裕 整理課和漢書目録掛主任(工学部総務課庶務掛図書主任)  
 55. 6. 30. 辞職 谷口みつ子 中之島分館受入掛事務補佐員  
 55. 7. 1. 採用 春木千代子 中之島分館受入掛事務補佐員  
 55. 8. 15. 辞職 荒巻喜美子 閲覧課閲覧第三掛事務補佐員  
 55. 8. 16. 配置換 八木 敬子 閲覧課閲覧第三掛事務補佐員(中之島分館受入掛事務補佐員)  
 55. 8. 20. 採用 野中美智子 中之島分館受入事務補佐員